

# 総務文教委員会 会議録

|        |  |       |        |
|--------|--|-------|--------|
| 開催年月日  | 令和3年1月25日(月)   | 場所    | 議会委員会室 |
| 案件     | ・調査第7号「ワーケーションの取り組みについて」、その他   |       |        |
| 出席委員   | 佐藤委員長、関野副委員長、小林委員、今委員、天日委員、宮田委員  |       |        |
| 欠席委員   | —  | 事務局   | 大津     |
| オブザーバー | —  | 傍聴者   | —      |
| 説明員    | 稲葉総務部長、関澤企画振興課長、松野企画振興課主査  |       |        |
| 開会時刻   | 13時30分   | 実会議時間 | 1時間41分 |
|        |  | 休憩時間  | 0時間05分 |
| 閉会時刻   | 15時16分   | 延会議時間 | 1時間46分 |
| 次回日程   | 2月1日(月) 10:00  |       |        |
| 要点記録   | <p>&lt;概要&gt;</p> <p>○調査第7号「ワーケーションの取り組みについて」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・担当部局からの説明を受ける</li><li>・昨年度から本年度にかけての本市の取り組み状況について説明を受ける。</li><li>・ワーケーションには7つの類型((一社)日本ワーケーション協会)がされているが、国内で制度が認知されていないことや取り組んでいる会社が少ないこともあり、定義づけがどのようにされていくかの段階。</li><li>・情勢として「まち・ひと・しごと総合創生総合戦略」の中で、首都圏から地方へ人の流れをつくるため、制限や施策を打ち出している。</li><li>・上記の一つに働き方を見直すとして、テレワークへの支援、ワーケーションの推進が掲げられている。</li><li>・このような国の施策を受け、北海道ではひとを呼び込む一つ的手段として捉えてきている。</li><li>・本市では、ワーケーションに関わる2団体に加盟し、名称は「ワーケーション自治体協議会」と「一般社団法人 日本ワーケーション協会」である。</li><li>・上記2団体からは情報収集や発信に取り組んでいる</li><li>・「北海道ワーケーション普及展開事業」へ参画し、道のワーケーションポータルサイトから本市の取り組みを見ることができる。</li><li>・本市独自のアンケートを昨年7月に道外の企業311社に送付し、40社から回答がある。</li><li>・アンケートと並行して、本市独自のワーケーション受入検討実証事業を委託して行っている。</li><li>・富良野市ワーケーション受入研究会を団体枠2人、公募7人で構成し、企画振興課以外の2つの部署も関係部署として関わっている。</li><li>・その他、詳細については別に記載。</li></ul> <p>・質疑応答(省略)と意見交換</p> <p>各委員が説明に基づき質疑応答を実施。<br/>議論等の整理については、各委員一度持ち帰って整理し、次回の委員会で整理する。→了。</p> <p>○その他</p> <p>なし。</p> |       |        |

以上、委員会会議録について富良野市議会委員会条例第27条の規定により、ここに署名する。

委員長 佐藤秀靖